



# クロック コマンド : Cisco ASR 9000 シリーズ ルータ

---

このモジュールでは、Cisco IOS XR ソフトウェアで内部クロック設定の設定と表示に使用するコマンドについて説明します。

ルータ クロックを手動で設定する方法の詳細については、『*Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router Getting Started Guide*』を参照してください。

ルータをネットワーク タイム プロトコル (NTP) に同期するように設定する方法の詳細については、『*Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router System Management Configuration Guide*』の「*Implementing NTP on Cisco IOS XR ソフトウェア*」モジュールを参照してください。

- [clock read-calendar, 2 ページ](#)
- [clock set, 4 ページ](#)
- [clock summer-time, 7 ページ](#)
- [clock timezone, 10 ページ](#)
- [clock update-calendar, 15 ページ](#)
- [locale country, 17 ページ](#)
- [locale language, 19 ページ](#)
- [show clock, 21 ページ](#)

# clock read-calendar

ハードウェアクロック（カレンダー）の設定をソフトウェアクロックに手動でコピーするには、EXEC モードで **clock read-calendar** コマンドを使用します。

## clock read-calendar

**コマンド デフォルト** カレンダーの読み取りはディセーブルです。

**コマンド モード** EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

「カレンダー」クロックは、ルータが電源オフまたはリブートされた場合でも継続して動作し続けるハードウェア システム クロックです。このハードウェア システム クロックとは別にソフトウェアクロック設定があり、ソフトウェアクロック設定の方はルータの電源をオフ/オンしたり、ルータがリブートされると、消去されます。

**clock read-calendar** コマンドは、ハードウェア クロック設定をソフトウェア クロックに手動でコピーする場合に使用します。

### タスク ID

タスク ID	操作
host-services	実行

### 例

次の例では、**clock read-calendar** コマンドを使用して、ハードウェア クロック設定をソフトウェアクロックにコピーしています。その後で **show clock** コマンドを入力して、新しいソフトウェアクロック設定を表示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# clock read-calendar
```

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show clock
14:31:57.089 PST Tue Feb 10 2008
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">clock set, (4 ページ)</a>	ソフトウェア クロック設定を設定します。
<a href="#">clock update-calendar, (15 ページ)</a>	ソフトウェアクロックからカレンダーを設定します。
<a href="#">show clock, (21 ページ)</a>	クロックの設定を表示します。
<b>update-calendar</b>	定期的に NTP からカレンダーを更新します。

# clock set

ソフトウェア クロック設定を変更するには、EXEC モードで **clock set** コマンドを使用します。

**clock set** *hh:mm:ss* {*day month* | *month day*} *year*

## 構文の説明

<i>hh:mm:ss</i>	現在の時間（24 時間形式）、分、および秒。値の間のコロンは必須です。
<i>day</i>	月の現在の日付
<i>month</i>	現在の月（名前）
<i>year</i>	現在の年（短縮表記しない）。有効な 4 桁の年を入力します。

## コマンド デフォルト

クロックは設定されていません。

## コマンド モード

EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

一般に、システムがネットワーク タイム プロトコル (NTP) などの有効な外部 タイミング メカニズムによって同期されている場合、またはカレンダー機能を持つ ネットワーキング デバイスがシステムにある場合は、ソフトウェア クロックを設定する必要はありません。他の時刻源を使用できない場合は、**clock set** コマンドを使用します。このコマンドで指定する時刻は、設定されている時間帯に対応します。

## タスク ID

タスク ID	操作
host-services	実行

## 例

## ソフトウェア クロックの設定

次の例は、*day month* 引数をまず指定した **clock set** コマンドを使用してソフトウェア クロックを設定する方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# clock set 14:12:00 10 feb 2005
14:12:00.114 JST Fri Feb 10 2009
```

次の例は、*month day* 引数をまず指定した **clock set** コマンドを使用してソフトウェア クロックを設定する方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# clock set 14:38:00 feb 10 2005
14:38:00.069 PST Tue Feb 10 2009
```

## 例

次に、ソフトウェア クロックの設定を表示する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show clock
14:38:11.292 PST Tue Feb 10 2009
```

## 例

次の例は、オンライン ヘルプ (?) 機能を使用して、使用可能な月を表示する方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# clock set 06:10:00 12 ?
    january      Month of the Year
    february
    march
    april
    may
    june
    july
    august
    september
    october
    november
    december
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">clock summer-time, (7 ページ)</a>	夏時間に自動的に切り替わるようにシステムを設定します。
<a href="#">clock timezone, (10 ページ)</a>	表示用のタイムゾーンを設定します。
<a href="#">show clock, (21 ページ)</a>	クロックの設定を表示します。

## clock summer-time

夏時間（日光節約時間）に自動的に切り替わるようにシステムを設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clock summer-time** コマンドを使用します。夏時間の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
clock summer-time zone {date {date month year hh:mm date month year hh:mm| month date year hh:mm
month date year hh:mm}| recurring week day month hh:mm week day month hh:mm} [ offset ]
```

```
no clock summer-time
```

### 構文の説明

<i>zone</i>	夏時間が適用されているときに表示されるタイムゾーンの名前（PDT など）。表 1：一般的な時間帯の略語、(10 ページ) に、 <i>zone</i> 引数に使用する一般的なタイムゾーンの略語を示します。
<b>date</b>	夏時間が、コマンドで指定された最初の特定の日付から始まり、2 番目の特定の日付で終わることを示します。
<i>date</i>	月の日付。
<i>month</i>	月。
<i>year</i>	年（短縮なし）。
<i>hh:mm</i>	時と分で表した時刻（24 時間形式）。
<b>recurring</b>	夏時間が毎年、指定された対応する日付に開始および終了することを示します。
<i>week</i>	月の週（値は 1 ~ 5、first、last のいずれか）。
<i>day</i>	曜日。
<i>offset</i>	（任意）夏時間中に加える分数。

### コマンド デフォルト

夏時間は設定されていません。

```
offset: 60
```

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

Use the **clock summer-time** コマンドは、（表示のためだけに）システムを夏時間に自動的に切り替える場合に使用します。

- **recurring** キーワードを使用すると、設定された日に毎年規則が適用されます。 **clock summer-time zone recurring** をパラメータなしで指定した場合は、デフォルトで米国標準の夏時間規則が使用されます。 *offset* 引数のデフォルトは 60 分です。
- 最初の形式を使用できない場合は、**date** キーワードを使用して夏時間の開始日と終了日を指定します。

どちらのコマンド形式でも、コマンドの最初の部分は夏時間がいつ始まるかを指定し、2 番目の部分はいつ終わるかを指定します。すべての時刻は、現地のタイムゾーンを基準にしています。開始時間は標準時を基準にしています。終了時間は夏時間を基準にしています。開始月が終了日より後の場合は、南半球にいるものと想定されます。

## タスク ID

タスク ID	操作
host-services	読み取り、書き込み

## 例

次に、夏時間が 4 月の第 1 日曜日の午前 2 時に始まり、10 月の最後の日曜日の午前 2 時に終わるように指定する例を示します。 **recurring** キーワードは、この規則が毎年適用されることを示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# clock summer-time PDT recurring 1 Sunday April 2:00 last
Sunday October 2:00
```

居住地域の夏時間が最初の例のパターンに従わない場合は、次の例のように、夏時間が 2008 年 10 月 12 日の午前 2 時に始まり、2009 年 4 月 26 日の午前 2 時に終わるように設定できます。 **date** キーワードは、この規則が今年だけ適用されることを示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# clock summer-time PDT date 12 October 2008 2:00 26 April
2009 2:00
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">clock set, (4 ページ)</a>	ソフトウェア クロック設定を設定します。
<a href="#">clock timezone, (10 ページ)</a>	表示用のタイムゾーンを設定します。

## clock timezone

表示用のタイムゾーンを設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clock timezone** コマンドを使用します。タイムゾーンの設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**clock timezone zone hours-offset [ minutes-offset ]**

**no clock timezone**

### 構文の説明

<i>zone</i>	標準時が適用されているときに表示されるタイムゾーンの名前。
<i>hours-offset</i>	Coordinated Universal Time (UTC; 協定世界時) からの時間オフセット。範囲は -23 ~ +23 です。
<i>minutes-offset</i>	(任意) UTC からの分オフセット。

### コマンド デフォルト

UTC

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

**clock timezone** コマンドは、時刻を手動で設定するときのタイムゾーンを表示するためだけに使用します。システムの内部では、時刻は UTC で保持されます。

次の表に、*zone* 引数に使用する一般的なタイムゾーンの略語を示します。

表 1: 一般的な時間帯の略語

略語	時間帯名および UTC オフセット
欧州	
GMT	グリニッジ標準時、UTC と同じ
BST	英国夏時間、UTC + 1 時間
IST	アイルランド夏時間、UTC + 1 時間
WET	西ヨーロッパ時間、UTC と同じ
WEST	西ヨーロッパ夏時間、UTC + 1 時間
CET	中央ヨーロッパ時間、UTC + 1 時間
CEST	中央ヨーロッパ夏時間、UTC + 2 時間
EET	東ヨーロッパ時間、UTC + 2 時間
EEST	東ヨーロッパ夏時間、UTC + 3 時間
MSK	モスクワ時間、UTC + 3 時間
MSD	モスクワ夏時間、UTC + 4 時間
米国およびカナダ	
AST	大西洋標準時、UTC - 4 時間
ADT	大西洋夏時間、UTC - 3 時間
ET	東部時間、場所と時期により EST または EDT のいずれか
EST	東部標準時、UTC - 5 時間
EDT	東部夏時間、UTC - 4 時間
CT	中部時間、場所と時期により CST または CDT のいずれか
CST	中部標準時、UTC - 6 時間
CDT	中部夏時間、UTC - 5 時間
MT	山岳部時間、場所と時期により MST または MDT のいずれか

略語	時間帯名および UTC オフセット
MST	山岳部標準時、UTC - 7 時間
MDT	山岳部夏時間、UTC - 6 時間
PT	太平洋時間、場所と時期により PST または PDT のいずれか
PST	太平洋標準時、UTC - 8 時間
PDT	太平洋夏時間、UTC - 7 時間
AKST	アラスカ標準時、UTC - 9 時間
AKDT	アラスカ標準夏時間、UTC - 8 時間
HST	ハワイ標準時、UTC - 10 時間
<b>オーストラリア</b>	
WST	西部標準時、UTC + 8 時間
CST	中部標準時、UTC + 9.5 時間
EST	東部標準時/夏時間、UTC + 10 時間（夏時間中は + 11 時間）

次の表に、タイムゾーンを参照するための代替方法を示します。この方法では、1 文字を使用してタイムゾーンと UTC との差を表します。この方法を使用する場合、文字 Z は基準子午線（UTC と同じ）を示し、文字 J（Juliet）はローカルタイムゾーンを参照します。また、国際日付変更線はタイムゾーン M と Y の間にあります。

表 2：1 文字のタイムゾーン指定子

文字指定子	単語指定子	UTC との差
Y	Yankee	UTC - 12 時間
X	Xray	UTC - 11 時間
W	Whiskey	UTC - 10 時間
V	Victor	UTC - 9 時間
U	Uniform	UTC - 8 時間
T	Tango	UTC - 7 時間

文字指定子	単語指定子	UTC との差
S	Sierra	UTC - 6 時間
R	Romeo	UTC - 5 時間
Q	Quebec	UTC - 4 時間
P	Papa	UTC - 3 時間
O	Oscar	UTC - 2 時間
N	November	UTC - 1 時間
Z	Zulu	UTC と同じ
A	Alpha	UTC + 1 時間
B	Bravo	UTC + 2 時間
C	Charlie	UTC + 3 時間
D	Delta	UTC + 4 時間
E	Echo	UTC + 5 時間
F	Foxtrot	UTC + 6 時間
G	Golf	UTC + 7 時間
H	Hotel	UTC + 8 時間
I	India	UTC + 9 時間
K	Kilo	UTC + 10 時間
L	Lima	UTC + 11 時間
M	Mike	UTC + 12 時間

タスク ID

タスク ID	操作
host-services	読み取り、書き込み

## 例

次に、タイムゾーンを PST に設定し、オフセットを UTC よりも 8 時間前に設定する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# clock timezone PST -8
```

次の例は、タイムゾーンをカナダのニューファンドランド州のニューファンドランド標準時 (NST) に設定する方法を示します。このタイムゾーンは UTC よりも 3.5 時間後です。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# clock timezone NST -3 30
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">clock set, (4 ページ)</a>	ソフトウェア クロック設定を設定します。
<a href="#">clock summer-time, (7 ページ)</a>	夏時間 (日光節約時間) に自動的に切り替わるようにシステムを設定します。
<a href="#">show clock, (21 ページ)</a>	クロックの設定を表示します。

# clock update-calendar

ソフトウェアクロック設定をハードウェアクロック（カレンダー）にコピーするには、EXEC モードで **clock update-calendar** コマンドを使用します。

## clock update-calendar

### 構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

### コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

### コマンド モード

EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

ハードウェアクロックは、ルータが電源オフまたはリブートされた場合でも継続して動作します。ソフトウェアクロックとカレンダーが同期しておらず、ソフトウェアクロックの方が正確な場合は、このコマンドを使用して、ハードウェアカレンダークロックを正確な日時に更新します。

### タスク ID

タスク ID	操作
host-services	実行

### 例

次に、ソフトウェアクロックの現在の時刻をハードウェアクロックにコピーする例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# clock update-calendar
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">clock read-calendar</a> , (2 ページ)	ハードウェア (カレンダー) クロックの設定をソフトウェア クロックにコピーします。

# locale country

デフォルトで使用する国を設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **locale country** コマンドを使用します。国の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**locale country** *country*

**no locale country**

## 構文の説明

*country* 国。ここで、*country* は2文字の国番号です。大文字と小文字は区別されません。

## コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



(注) このコマンドは、現時点で完全にはサポートされていません。

使用可能なすべての国番号のリストを表示するには、オンライン ヘルプ (?) 機能を使用します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# locale country ?
```

```
AD   Andorra
AE   United Arab Emirates
AF   Afghanistan
AG   Antigua and Barbuda
AI   Anguilla
AL   Albania
```

## locale country

```

AM    Armenia
AN    Netherlands Antilles
AO    Angola
AQ    Antarctica
AR    Argentina
AS    American Samoa
AT    Austria
AU    Australia
AW    Aruba
AZ    Azerbaijan
BA    Bosnia and Herzegovina
BB    Barbados
BD    Bangladesh
BE    Belgium
--More--

```

## タスク ID

タスク ID	操作
host-services	読み取り、書き込み

## 例

次に、使用する国をオーストラリアに設定する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# locale country au
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">locale language, (19 ページ)</a>	デフォルトで使用する言語を設定します。

# locale language

デフォルトで使用する言語を設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **locale language** コマンドを使用します。言語設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**locale language** *language*

**no locale language**

## 構文の説明

*language* 言語を指定する2文字のコード。大文字と小文字は区別されません。

## コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



(注) このコマンドは、現時点で完全にはサポートされていません。

使用可能なすべての言語コードのリストを表示するには、オンラインヘルプ (?) 機能を使用します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# locale language ?
```

```
aa    Afar
ab    Abkhazian
af    Afrikaans
am    Amharic
ar    Arabic
as    Assamese
ay    Aymara
```

--More--

## タスク ID

タスク ID	操作
host-services	読み取り、書き込み

## 例

次に、使用する言語を英語に設定する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# locale language en
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">locale country</a> , (17 ページ)	デフォルトで使用する国を設定します。

# show clock

システム クロックを表示するには、EXEC モードで **show clock** コマンドを使用します。

## show clock [detail]

### 構文の説明

**detail** (任意) 時間帯、時刻源と現在の夏時間設定を示します (存在する場合)。

### コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

### コマンド モード

EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

システムクロックは、時刻が信頼できる (正確であると信じられる) かどうかを示す「信頼性」フラグを保持しています。システム カレンダーやネットワーク タイム プロトコル (NTP) などの時刻源によってシステムクロックが設定された場合は、このフラグが設定されます。信頼できない時刻は、表示のためだけに使用されます。時刻が信頼できる時刻源から取得され、「信頼性」フラグが設定されない限り、無効な時刻を持つピアがそのクロックに同期することはありません。

**show clock** コマンド出力の前に付く記号を、次の表に示します。

表 3: **show clock** 出力の前に付く記号の説明

記号	説明
*	時刻は信頼できません。
(空白)	時刻は信頼できます。

show clock

記号	説明
.	時刻は信頼できますが、NTPと同期していません。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り

例

次の出力例は、現在のクロック設定を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show clock
16:18:28.927 PST Tue Feb 10 2009
```

次の出力例は、時間帯、時刻源など、現在のクロックの詳細を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show clock detail
16:18:07.164 PST Tue Feb 10 2009
Timezone: PST8PST Timesource: User configured
```

関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">clock set</a> , (4 ページ)	ソフトウェアクロック設定を設定します。